

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	成人看護学概論		対象学生・時期	1年生・後期	
			講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	救急・急性期病棟における看護実践経験				
科目目標	1. 成人期における対象の特徴を理解する 2. 成人期における対象への看護の機能・役割を理解する 3. 成人期における保健活動の意義、健康の保持増進を図る援助を理解する 4. 健康障害時の健康レベルに応じた看護方法を理解する				
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当
1	成人期にある対象理解	1. 青年期の成長と発達課題の特徴 2. 成人期の成長と発達課題の特徴 3. 壮年期・中年期の成長と発達課題の特徴		講義	
2	健康を阻害する生活行動要因	1. 健康な生活の保持・増進への看護 1) 生活習慣予防 2) ストレス 3) 職業に関連する健康障害 2. 健康診断の重要性と健康保持のための指導 3. 健康増進・疾病予防に伴う施策や取り組み			
3	看護の対象、看護の視点	1. 主体的な健康行動の促進 2. 健康生活を支援する環境づくり 3. 地域社会・職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護			
4	成人への対象のアプローチ	1. 生活の中で健康行動をはぐくむ援助 1) 大人の健康行動の捉え方 2) 行動変容を促進する看護アプローチ 3) 看護におけるマネジメント 4) 看護実践における倫理的判断 5) 意思決定支援と家族支援			
5	成人を取り巻く生活からみた健康	1. 生活の視点からみた成人の健康 2. 成人期の健康観 3. 健康教育 1) セルフマネジメント 2) ペタゴジー・アンドラゴジー 3) エンパワーメントエデュケーション 4) 自己肯定感			
6	健康レベル(経過別)に応じた看護	1. 急性期の概念および看護の概要 2. 生命の危機状態 3. 急激な健康破綻をきたした人の看護 4. 健康状態が急激に変化する対象の身体的・心理的・社会的特徴			
7		1. 回復期の概念および看護の概要 2. リハビリテーションの概念および看護の概要 3. 社会復帰に向けた看護の概要			
8		1. 慢性期の概念および看護の概要 1) 慢性期の健康状態とは 2) 慢性的経過をたどる対象の精神的・社会的特徴 3) セルフコントロールへの援助 4) 慢性期の感懐と憎悪			

9	健康レベル (経過別) に応じた看護	人生の最期の時を支える看護	1. 終末期の概念および看護の概要 1) 人間にとっての死 2) 全人的苦痛 3) 意思決定支援と看護師の役割	講義	
10			4) アドバンスケアプランニング 5) 臨終時の看護 (死後の処置を含む)		
11		治療と看護	1. 手術療法時の看護 1) 手術療法の目的と周手術期における看護師の役割 2) 手術療法による生体への侵襲 3) 術後経過と生体反応 4) 手術侵襲に対する神経・内分泌反応		
12			2. 薬物療法時の看護 1) 輸液療法の目的・特徴 2) 輸液療法を受ける患者への看護援助 3) 化学療法の特徴 4) 化学療法を受ける患者への看護援助		
13			3. 放射線療法時の看護 1) 放射線療法の目的・特徴 2) 放射線被曝からの防護 3) 放射線療法を受ける患者・家族への看護援助		
14	4. 食事療法時の看護 1) 病院食 2) 栄養補給法 ・経腸栄養法 ・静脈栄養法 (中心静脈栄養法・末梢静脈栄養法)				
15	単位認定試験 まとめ				
評価方法	筆記試験				
使用テキスト	・系統看護学講座 成人看護学総論 医学書院 ・系統看護学講座 臨床看護総論 医学書院 ・国民衛生の動向 一般財団法人厚生労働統計協会 ・看護過程に沿った対症看護 学研				
備考					
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う		

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	運動機能に障害のある成人の看護		対象学年・時期	2年生・前期	
			時間数(単位)	30時間(1)	
講師名	看護師				
科目目標	1. 運動機能障害に障害をもつ成人とその家族への看護が理解できる 2. 認知機能・コミュニケーション障害をもつ成人とその家族への看護が理解できる 3. 感覚機能障害をもつ成人とその家族への看護が理解できる				
回数		主題	主な学習内容	授業形態	担当
1	骨・筋機能に障害のある成人の看護	運動器の看護を学ぶにあたって	1. 医療の動向と看護 2. 運動器疾患のある対象の特徴 3. 看護の役割	講義	
		援助のためのおもな知識と技術	1. 日常生活動作に対する援助 2. 良肢位と身体各部の相互位置関係 3. 生活の調整		
2		症状に対する看護	1. 神経麻痺 2. 循環障害とフォルクマン拘縮 3. 疼痛 4. 出血 5. 感染 6. 深部静脈血栓 7. 褥瘡		
		検査を受ける対象の看護	1. 関節可動域検査 (ROM)、徒手筋力テスト (MMT) 2. X線検査 3. 脊髄造影、椎間板造影 4. 膝関節鏡 5. 筋生検		
3		保存療法を受ける対象の看護	1. ギプス固定 2. 副子固定 3. 牽引療法		
4	手術療法を受ける対象の看護	1. 運動器の手術 2. 手の腱の手術 3. 脊椎固定術 4. 膝関節の手術 5. 四肢の切断術			
5	疾患をもつ対象の看護	1. 大腿骨頸部骨折・大腿骨転子骨折 2. 腰椎椎間板ヘルニア 3. 脊椎損傷 4. 骨腫瘍 5. 関節リウマチ			
6	成人の看護 眼に障害のある	眼の看護を学ぶにあたって 症状・障害をもつ対象の看護 検査・処置・治療を受ける対象の看護	1. 医療の動向と看護 2. 症状に対する看護 3. 検査を受ける患者の看護 4. 処置を受ける患者の看護 5. 治療を受ける患者の看護	講義	
7	成人の看護 耳・鼻に障害のある	耳鼻の看護を学ぶにあたって 症状・障害をもつ対象の看護 検査・処置・治療を受ける対象の看護	1. 医療の動向と看護 2. 症状に対する看護 3. 検査を受ける患者の看護 4. 処置を受ける患者の看護 5. 治療を受ける患者の看護		

8	脳神経機能に障害のある成人の看護	脳・神経の看護を学ぶにあたって 症状・障害をもつ対象の看護	1. 医療の動向と看護 2. 疾患をもつ患者の経過と看護	講義			
9		症状・障害をもつ対象の看護②	1. 脳神経疾患の患者の特徴 2. 症状・障害 ①意識障害 ②言語障害 ③認知症 ④運動麻痺 ⑤運動失調・不随意運動 ⑥痙攣 ⑦筋力低下 ⑧感覚障害 ⑨嚥下障害 ⑩排尿障害 ⑪呼吸障害 ⑫頭蓋内圧亢進				
10		検査・処置を受ける対象の看護	1. 脳波検査 2. 髄液検査 3. 脳血管造影				
		治療を受ける対象の看護	1. 開頭手術 2. 薬物療法 3. 化学療法・放射線療法				
11		疾患をもつ対象の看護①	1. クモ膜下出血 2. 脳梗塞				
12		疾患をもつ対象の看護②	3. 脳腫瘍 4. 下垂体腺腫の摘出術 5. 頭部外傷				
13		疾患をもつ対象の看護④	1. 国立病院機構が担う政策医療 1) 重症筋無力症 2) 筋ジストロフィー			講義	
14		疾患をもつ対象の看護⑤	3) 筋萎縮性側索硬化症 4) 多発性硬化症 5) パーキンソン病				
15	単位認定試験 まとめ						
評価方法	筆記試験						
使用テキスト	・系統看護学講座 運動器 医学書院 ・系統看護学講座 脳・神経 医学書院 ・系統看護学講座 眼 医学書院 ・系統看護学講座 耳鼻咽喉 医学書院						
備考							
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う				

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	生命維持機能に障害のある成人の看護		対象学生・時期	2年生・前期	
			時間数(単位)	30時間(1)	
講師名	看護師				
科目目標	1. 循環器系に障害をもつ成人及びその家族への看護を理解する 2. 呼吸器系に障害をもつ成人及びその家族への看護を理解する 3. 血液・造血系に障害をもつ成人及びその家族への看護を理解する				
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当	
1	循環機能に障害のある成人の看護	循環器、刺激伝導系の解剖のふり返り	1. 循環器系の解剖生理 血管・心臓の構造と機能 2. 心臓の電気活動 1) 刺激伝導系 2) ペースメーカー 3) ペースメーカー挿入中の患者の看護	講義	
2		循環器疾患における主な検査とその看護	1. 検査 1) 12誘導心電図 2) 心エコー法 3) 心臓カテーテル検査 4) 血行動態モニタリング		
3		循環器系疾患における主な治療とその看護	1. 内科的治療 1) 薬物療法 2) 経皮的冠状動脈インターベンション(PCI) 2. 外科的治療 1) 心臓手術 2) 冠状動脈バイパス術(CABG) 3. 補助循環装置		
4		疾患を持つ対象の看護	1. 動脈系疾患患者の看護	講義 GW	
5			2. 不整脈に対する看護 1) 心筋炎、心膜炎		
6			3. 虚血性心疾患の対象の看護 1) 狭心症 2) 心筋梗塞		
7			4. 心不全患者の看護(事例検討)		
8		疾患の経過と看護	1. 開心術後の看護	講義	
9			2. 造血器疾患の対象の看護		
10	3. 貧血の分類と看護				
10	呼吸機能に障害のある成人の看護	4. 化学療法、輸血療法(輸血管理)、GVHD			
		呼吸器の看護を学ぶにあたって	1. 医療の動向 2. 患者の特徴 3. 看護の役割 4. 急性期～回復期の患者の看護 1) 開胸術を伴う手術を受ける患者の看護 2) 胸腔鏡下で手術を受ける患者の看護 5. 慢性期の患者の看護 1) 慢性閉塞性肺疾患患者の看護 6. 終末期の看護	講義	

11	呼吸機能に障害のある成人の看護	症状に対する看護	1. 咳嗽・喀痰のある患者の看護 2. 血痰・喀血のある患者の看護 3. 胸痛のある患者の看護 4. 呼吸困難のある患者の看護		
12		検査を受ける対象の看護	1. 動脈血ガス分析、呼吸機能検査 2. 気管支鏡 3. 胸腔穿刺 4. 肺生検 5. 胸部エックス線・CT検査 6. 喀痰細胞診、喀痰培養		
13		治療、処置を受ける対象の看護	1. 治療、処置を受ける患者の看護 1) 吸入療法、酸素療法 2) 人工呼吸器、非侵襲的陽圧換気療法 (NPPV) 3) 呼吸リハビリテーション (体位ドレナージ) 4) 気管切開を受ける患者の看護 5) 胸腔ドレナージを受ける患者の看護	講義 演習	
14		疾患を持つ対象の看護	1. 肺炎患者の看護 2. 結核患者の看護 3. 気管支喘息患者の看護 4. 肺血栓塞栓症患者の看護 5. 急性呼吸窮迫症候群患者の看護 6. 睡眠時無呼吸症候群患者の看護 7. 肺がん患者の看護 8. 自然気胸患者の看護	講義	
15	単位認定試験、まとめ				
評価方法	課題、筆記試験				
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 呼吸器 医学書院 ・系統看護学講座 循環器 医学書院 				
備考					
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う		

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	消化機能、代謝機能に障害のある成人の看護		対象学生・時期	2年生・前期			
			時間数(単位)	30時間(1)			
講師名	看護師						
科目目標	1. 栄養摂取・消化・吸収・排泄機能に障害を持つ成人とその家族への看護が理解する 2. 代謝機能に障害を持つ成人とその家族への看護が理解する 3. 内分泌機能に障害を持つ成人とその家族への看護が理解する						
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当		
1	消化機能に障害のある成人の看護	消化機能障害のある対象の特徴と看護の役割	1. 医療の動向と看護 2. 消化機能障害のある成人の特徴 3. 看護の役割 4. 症状に対する看護		講義		
2		消化機能障害検査を受ける対象の看護	1. 造影検査 2. 内視鏡検査 3. 肝生検 4. 肝シンチグラフィ 5. 腹部超音波検査				
3		内科的治療・処置を受ける対象の看護(消化管)	1. 治療を受ける 1) 薬物療法 2) 化学療法 3) 栄養療法・食事療法 4) 放射線療法 2. 炎症性疾患 (潰瘍性大腸炎・クローン病・膵炎) 3. 胃瘻・腸瘻				
4		外科的治療・処置を受ける対象の看護(消化管)	1. 咽頭・喉頭摘出術 2. 口腔・歯 3. 食道切除術 4. 胃切除術				
5			5. 大腸がん、ストーマ造設術 ストーマ管理				講義 演習
6		外科的治療を受ける対象の看護(肝胆膵)	1. 肝切除術 2. 腹腔鏡下胆のう摘出術 3. 膵頭十二指腸切除術				講義
7		内科的治療を受ける対象の看護(肝胆膵)	1. インターフェロン療法 2. 肝動脈塞栓術 3. 食道静脈瘤内視鏡的治療 4. 放射線療法				
8	内分泌・代謝機能に障害のある成人の看護	内分泌・代謝機能障害のある対象の特徴と看護の役割	1. 医療の動向と看護 2. 内分泌・代謝機能障害 3. 看護の役割 4. 症状とその病態生理		講義		
9		内分泌疾患の検査・処置を受ける対象の看護	1. ホルモン血中・尿中濃度測定 2. ホルモン負荷試験 3. 画像検査				

10	内分泌疾患の治療を受ける対象の看護	1. 下垂体疾患 2. 甲状腺疾患 1) ホルモン療法 2) 手術療法 3. 副甲状腺疾患 4. 副腎疾患		
11	代謝性疾患の対象の看護	1. 脂質異常症 2. 肥満・るい瘦 3. 尿酸代謝異常		
12	代謝性疾患の治療・処置を受ける対象の看護 (糖尿病患者の看護)	1. 糖負荷試験 (OGTT) 2. 血糖自己測定 (SMBG) 3. 糖尿病患者の特徴 1) 疾患の特徴 2) 患者の特徴 (身体的・心理的・社会的)		
13	糖尿病治療を受ける対象の看護	1. 食事療法 2. 運動療法 3. 薬物療法 1) インスリン補充療法 2) 糖尿病経口薬 4. 合併症予防 1) 血液透析 2) 腎移植		
14	糖尿病患者への看護技術	1. 血糖測定 2. インスリン補充療法	演習	
15	単位認定試験 まとめ			
評価方法	筆記試験			
使用 テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 内分泌・代謝 医学書院 ・系統看護学講座 消化器 医学書院 ・系統看護学講座 歯・口腔 医学書院 			
備考				
自己学習 時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う	

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	排泄機能、生殖機能、免疫機能に障害のある成人の看護		対象学生・時期	2年生・前期			
			時間数(単位)	30時間(1)			
講師名	看護師						
科目目標	1. 腎・泌尿器系に障害をもつ成人とその家族への看護を理解する 2. 女性生殖器系に障害をもつ成人とその家族への看護を理解する 3. 膠原病をもつ成人とその家族への看護を理解する 4. 感染症をもつ成人とその家族への看護を理解する						
回数	主題	主な学習内容		授業形態	担当		
1	排泄機能に障害のある成人の看護	腎・泌尿器の看護を学ぶにあたって	1. 医療の動向と看護 2. 腎・泌尿器疾患患者の特徴 3. 看護の役割	講義	①		
2		症状に対する看護	1. 浮腫 2. 高血圧 3. 下部尿路症状 4. 尿の性状異常				
3		検査を受ける対象の看護	1. 尿検査 2. 膀胱鏡検査 3. 画像検査 4. 生検 1) 腎生検 2) 膀胱組織検査 3) 前立腺組織検査 5. 尿流動態検査 6. 残尿測定				
4		手術、薬物療法、移植を受ける対象と機能障害のある患者の看護	1. 手術を受ける患者の看護 1) 膀胱の手術を受ける患者の看護 膀胱全摘術および尿路変更術 2) 前立腺の手術を受ける患者の看護 経尿道的前立腺切除術 3) 腎臓の手術を受ける患者の看護 4) 精巣の手術を受ける患者の看護 5) 尿路結石の手術を受ける患者の看護 2. 薬物療法を受ける患者の看護 (内分泌療法) 3. 腎移植を受ける患者の看護 4. 性・生殖機能に障害のある患者の看護				
5		透析療法を受ける対象の看護	1. 保存期から透析導入期の患者の看護 2. 血管透析患者の看護 (導入期・維持期・慢性期) 3. 腹膜透析患者の看護 (導入期・維持期・慢性期) 4. 持続血液透析濾過を受ける患者の看護			講義	②
6		女性生殖器の看護を学ぶにあたって	1. 医療の動向と看護 2. 女性生殖器疾患患者の特徴 3. 看護の役割 4. 外診時の看護 5. 内診時の看護 6. 検査・処置時の看護			講義	③
7		臓器別疾患対象の看護	1) マンモグラフィー 2) 乳房超音波検査 1. 外陰部疾患患者の看護 2. 膣疾患患者の看護				

			<ul style="list-style-type: none"> 3. 子宮疾患患者の看護 4. 卵管・卵巣疾患患者の看護 5. 乳房疾患患者の看護 		
8		機能別疾患対象の看護	<ul style="list-style-type: none"> 1. 月経異常・月経随伴症状のある患者の看護 2. 高齢女性に起こりやすい女性生殖器疾患患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) 更年期障害 2) 子宮下垂・子宮脱 3) 萎縮性膣炎症 		
9		手術、化学療法、放射線療法、ホルモン療法を受ける対象の看護	<ul style="list-style-type: none"> 1. 手術を受ける患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) 外性器・内性器の手術 2) 乳房の手術 2. 化学療法を受ける患者の看護 3. 放射線療法を受ける患者の看護 4. ホルモン療法を受ける患者の看護 		
10	免疫機能に障害のある成人の看護	アレルギー患者の特徴と看護の役割	<ul style="list-style-type: none"> 1. アレルギー患者の特徴 <ul style="list-style-type: none"> 1) 医療の動向と看護 2) 患者の特徴と看護の役割 2. アレルギー症状に対する看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) 症状 2) 消化器症状 3) 皮膚症状 3. アレルギー検査を受ける患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) スキンテスト、パッチテスト 2) ブリックテスト 4. アレルギー治療を受ける患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) 減感作療法 2) ステロイド療法 5. アレルギー疾患を持つ患者の看護 	講義	④
11					
12		膠原病患者の特徴と看護の役割	<ul style="list-style-type: none"> 1. 膠原病患者の特徴 <ul style="list-style-type: none"> 1) 医療の動向と看護 2) 患者の特徴と看護の役割 2. 膠原病の検査・治療を受ける患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) 血液・免疫学的検査 2) 薬物療法 3. 膠原病疾患を持つ患者の看護 		
13		感染症患者の特徴と看護の役割	<ul style="list-style-type: none"> 1. 感染症患者の特徴 <ul style="list-style-type: none"> 1) 医療の動向と看護 2) 患者の特徴と看護の役割 3) 看護を取り巻く感染症の問題 2. 感染症検査・治療における看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) 検体採取時の看護 2) 抗菌薬投与中の看護 3. 感染症疾患を持つ患者の看護 <ul style="list-style-type: none"> 1) HIV/AIDS 患者の病期に応じた看護 2) 免疫抑制状態の患者の看護 	講義	④
14					
15	単位認定試験まとめ				
評価方法	筆記試験				
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統看護学講座 ・系統看護学講座 ・系統看護学講座 	<ul style="list-style-type: none"> 腎・泌尿器 女性生殖器 アレルギー 	<ul style="list-style-type: none"> 医学書院 医学書院 膠原病 感染症 医学書院 		
備考					
自己学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う		

*この科目は実務経験のある教員による授業科目です

科目名	成人看護学演習		対象学生・時期	2年生・後期	
			講義時間(単位)	30時間(1)	
講師名	専任教員				
科目目標	1. 成人期を対象とした看護過程の展開ができる 2. 成人期の看護に必用な看護技術を習得する				
回数	主題	主な学習内容	授業形態	担当	
1	看護過程の展開 手術を受ける胃癌 患者の看護 (急性期・回復 期、 退院指導を含 む)	1. 健康生活の急激な破綻から回復を促す看護 1) 手術侵襲と生体の反応 2) 手術を受ける患者と家族の心理 2. 看護過程展開の実際	講義		
2		3. 手術前患者の看護 1) 全身状態の把握 2) 不安、ボディイメージ変容の受容に対する支援 3) 手術当日の看護 4) アセスメント(仮診断)	演習		
3					
4		4. 手術中患者の看護、アセスメント 1) 手術室の安全管理 2) 麻酔導入時の看護 3) 手術中の看護 4) 麻酔覚醒時の観察、看護			
5		5. 手術後の患者の看護、アセスメント 1) 術直後、術後24時間以内の観察と状態のアセスメント 2) 術後合併症の発生機序 3) 診断リスト、目標設定 4) 計画立案			
6					
7		6. 手術後の患者の看護、アセスメント 1) 計画実施(術後患者の初回歩行の援助) 2) 計画の評価・修正			
8					
9					
10		7. 自己管理に向けた援助 1) 計画実施(退院指導) 2) 計画の追加・修正			
11	救命救急看護の 基礎	1. 救急処置法の原則 2. 救急医療における看護 1) 救急患者の特徴 2) 救急看護の役割	講義		
12		3. 救急患者の観察とアセスメント 1) 緊急度と重症度の判断 2) 全身状態の判断 3) 鑑別、診断のために行われる検査及び治療	演習		
13		4. 救急患者発生時の看護 1) 気道確保(挿管)・人工呼吸、 気管内吸引 2) 胸骨圧迫・AED 3) 意識レベルの確認			

14	集中治療を受ける 対象の看護	1. 集中治療における看護 1) 生命が危機的状況にある対象の特徴 2) 集中治療の看護の役割	講義	
15	単位認定試験 まとめ	筆記試験、まとめ		
評価方法	筆記試験 50点 課題 50点			
使用テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・系統別看護学講座 臨床外科総論 医学書院 ・系統別看護学講座 救急看護学 医学書院 ・系統別看護学講座 クリティカルケア看護学 医学書院 ・看護診断ハンドブック 医学書院 			
備考				
自己 学習時間	15 時間	事前・事後学習	テキストで事前学習・事後学習を行う 課題に取り組む	